

6 収穫祭 山形風芋煮会



恒例の収穫祭は今年もやってきました。畑のサツマイモは、日光にあて、乾燥させて甘みをより強くしようと、2週間天日干しにしました。里芋は前々日に掘っておきました。サツマイモはふかしイモとダッジオープンで焼き芋を作りました。どちらも甘みがあって、とても良い出来栄でした。

里芋は、朝から洗って皮むきをしたが、新しいので手がかゆくなってしまいました。昼食は準備に忙しいので、サツマイモで簡単に済ませました。山形風芋煮鍋が出来上がったので、その間にてんぷらを揚げ、いよいよ収穫祭が始まりました。

併せてティピーテントを立て、いつでも寝られるように準備しました。このティピーテントは非常にわかりやすく

作られおり、一人でも十分に建てることができました。しかも、10分ぐらいで建てられる優れたものでした。夕方から食事を始めましたが、里芋は柔らかく、味も良かったです。

夕方には日本キャンプ協会の50周年記念アジアオセアニア会議に出席した仙台の直江さんも合流しました。また、倉島さんと宮崎さんも昼前から出席して手伝っていただきました。

今回使った誉田のキャンプ場は、昨年まで利用していた東寺山キャンプ場を地主さんへ返さなければならなくなったので、場所を探し東寺山と同じような環境の中で倉庫を作り、日本キャンプ協会からいただいたテントを保管するとともに、畑を耕して季節の野菜を育てる場所である。

日時：2016年10月29日(土)-30日(日)
場所：千葉市誉田1丁目

これからは地元密着(千葉市緑区)の活動を積極的に行い、子供たちとキャンプ協会の会員の皆さんに楽しんでいただく場所にしたいと考えています。幸いにも隣接の地主さんのご理解のもとに、“自由に使っていよいよ”とお願いいただいたので、林を開拓して遊びの場所にしていこうと考えています。

(報告者:高橋)



3 事務局より

☆P-MAC 記事の募集

本誌「P-MAC」は、キャンプに携わる多くの人々の交流と情報共有を目的として発行されています。この目的にさらに近づいていくためにも、本誌編集委員会では、読者の皆さまの寄稿をお待ちしております。

☆千葉県キャンプ協会 正会員の募集

現在、千葉県キャンプ協会では正会員を募集しております。キャンプに熱心に取り組まれており、本協会にご賛同いただけます方には、是非とも、総会等にご参加いただき、今後の発展のためにもお知恵をお借りしたいと考えております。

発行者：NPO法人千葉県キャンプ協会 篠塚博道(会長) 編集者：坂本拓弥(広報)
連絡先：〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1丁目33番地
国立大学法人 千葉大学 教育学部 下永田研究室内
TEL : 080 - 9534 - 1234 FAX : 043 - 290 - 2620
HP : http://chiba.camping.or.jp/ E-mail : chiba@camping.or.jp

P-MAC
NPO法人千葉県キャンプ協会
Camping Association of Chiba



No. **61**

2017年2月15日発行

1 巻頭言

ビジョン2020 「社会の隅々までキャンプを届けよう」

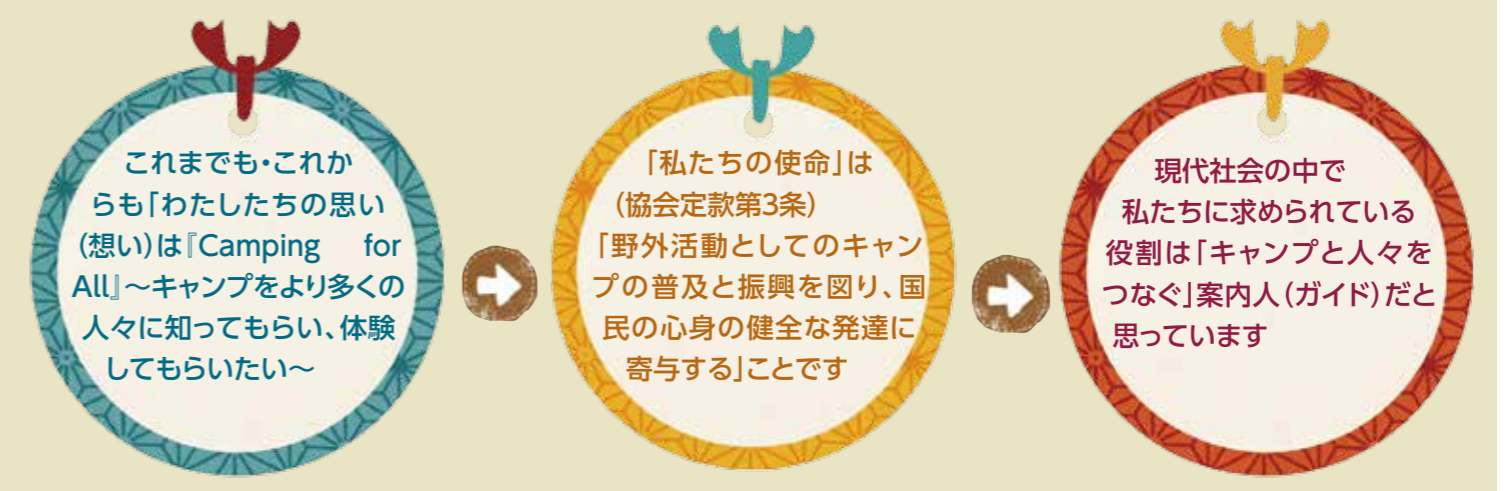
会長 篠塚 博道

設立50周年を迎えた日本キャンプ協会から、将来ビジョンが示され三つのアクションプランが提案されました。取組みの期間は2017年度から2020年度までとなっています。基本ビジョンは以下のとおりです。

「キャンプと人々をつなぐ案内人(ガイド)」とは「キャンプに備わっている特性を理解し、“キャンプ”を伝えることができる人」であり、キャンプに備わっている特性は①つながる力(新しい出会いから広がる人の輪、先人たちから受け継ぐ知恵と技術など)②たのしみ力(集うことの楽しさ、力を合わせる喜びなど)③たちむかう力(自ら為すことによって身につく体験など)とされています。

「キャンプと人々をつなぐ案内人(ガイド)」とは「キャンプに備わっている特性を理解し、“キャンプ”を伝えることができる人」であり、キャンプに備わっている特性は①つながる力(新しい出会いから広がる人の輪、先人たちから受け継ぐ知恵と技術など)②たのしみ力(集うことの楽しさ、力を合わせる喜びなど)③たちむかう力(自ら為すことによって身につく体験など)とされています。

基本ビジョン



アクションプラン

アクションプランは、これらの「力」を社会の隅々まで届けていく取組みです。ビジョン達成のために以下のアクションプランが提案され、2017年から開始されることになっています。千葉県キャンプ協会にとっても、2017年度は、今までの活動を踏まえた新しい取組みを具体化する年としたいと思

アクションプランが提案され、2017年から開始されることになっています。千葉県キャンプ協会にとっても、2017年度は、今までの活動を踏まえた新しい取組みを具体化する年としたいと思

い取組みを具体化する年としたいと思

Action 1

指導者養成制度を活用した「キャンプの案内人」の養成に努めます。
■キャンプインストラクター養成数の維持
■指導者養成カリキュラムの改訂
■キャンプ知識・技術の伝承

Action 2

「つながる力」「たのしみ力」「たちむかう力」を実感できるキャンププランを提案します。
■次世代応援プラン
■多チャンネル連携プラン
■社会的課題対応プラン

Action 3

社会の変化に対応して私たちの意識改革に取り組みます。
■自主、自立、そして成熟へ
■中央発信重視から地域間発信重視へ
■都道府県協会と日本協会の相互関係の堅持

目次

1. 巻頭言
2. 平成28年度 第2回実施事業報告
 - 1) 千葉県身体障がい者キャンプ
 - 2) ちばンティサバイバルキャンプ
 - 3) キャンプインストラクター講習会
 - 4) 夏休み子どもサバイバルキャンプ
 - 5) ODC野外力検定
 - 6) 収穫祭 山形風芋煮会
3. 事務局より